

夜明け前

映画
「夜明け前」が
文部科学大臣賞を
受賞!

呉秀三と無名の
精神障害者の100年



星に語りて Starry Sky

2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

とき **2019年 7月6日** 土

ところ **愛媛県男女共同参画センター
多目的ホール**
＜愛媛県松山市山越町450番地＞

第一部

開 場 10:30 ~
「星に語りて」 11:00 ~ 13:00
「夜明け前」 13:30 ~ 14:40
フリートーク 14:40 ~ 15:10

第二部

開 場 15:30 ~
「星に語りて」 16:00 ~ 18:00
「夜明け前」 18:30 ~ 19:40
フリートーク 19:40 ~ 20:10

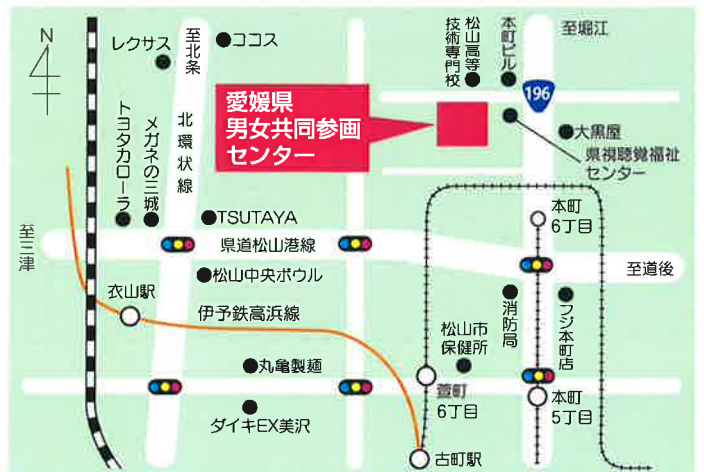
チケット料金	前売券	当日券
一般（高校生以上）	1,500円	1,800円
障害のある方、中学生以下	1,000円	1,200円

◆ 1枚につき1名様2作品ご鑑賞できます。 ◆ ご使用なくとも払戻は致しません。

主 催 / きょうされん 40周年記念映画上映 実行委員会
後 援 / 愛媛県、愛媛県教育委員会、愛媛県社会福祉協議会
松山市、松山市教育委員会、松山市社会福祉協議会

連絡先

きょうされん愛媛支部事務局
(繋がらない時は / 090-2891-8661)
TEL.FAX 089-979-7551



映画 「夜明け前」の紹介

I n t r o d u c t i o n

今から100年前 精神病に有効な治療法が無かった時代 座敷牢に幽閉された精神病者を 救おうと奔走した一人の男がいた 呉秀三は予言者？

呉秀三が、私宅監置(座敷牢)の実態調査を世に出して、2018年は100年の節目にあたる。呉は、調査報告書の中で、精神障害者が置かれている実態を指して、「この国に生まれた不幸」「この国目下の急務」と言い放った。

呉の業績と調査報告書が発するメッセージは、表現こそ古い言い回しだが、内容は斬新である。まるで

予言者である。隔離処遇にしろ、身体拘束にしろ、呉が、当時問題にしたテーマの基本は、現代の精神医療の実態にそのままあてはまる。

このドキュメンタリー映画が、日本の精神医療の「夜明け」をたぐり寄せる上でいささかでも貢献できればと思う。まずは観てほしい。

きょうされん専務理事
呉記録映画企画責任者 **藤井 克徳**

(きょうされんホームページより抜粋)



今井友樹監督作品 ナレーション 竹下景子

企画／藤井克徳 監修／広瀬徹也
プロデューサー／中橋真紀人 撮影／小原信之
上映時間 66分

映画 「星に語りて」の紹介

I n t r o d u c t i o n

2011年 3月11日 障害者の状況と支援者の活動を描く劇映画

陸前高田市の高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたが、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性の所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一歩を踏み出そうとしていた。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏みだそうとしていた。しかし・・・

この作品は、大災害時における障害のある人の状況と支援者の活動を描き、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その知られざる実情を描き出す群像劇です。

東日本大震災による1万8千人を超える死者の中で、障害のある人の死亡率が全住民の2倍だという事実を知る人は少ないのではないのでしょうか。

実力派俳優陣に加え、障害当事者を出演者として起用し、人間味あふれるドラマが繰り広げられます。

(きょうされんホームページより抜粋)

監督／松本勲 脚本／山本おさむ
製作総括／西村直 企画／藤井克徳
プロデューサー／新井英夫
上映時間 115分

きょうされん

きょうされん 40周年記念映画上映 実行委員会参加事業所 (敬称略、順不同)

あぐり塾、なかま共同作業所、フレンドれんげ、木麦の家、いろえんぴつ、ムゲン、共同作業所なかよし村、いちごの家、ひかり、パステル工房、愛媛障害フォーラム、愛媛難聴者協会、愛媛県精神障害者福祉会連合会、きょうされん愛媛支部